

支えあういのちと愛

～千葉の会だより～

新年を迎えて ～会長挨拶～

2月号 2014. 2. 1

発行：千葉骨髓バンク推進連絡会
〒273-0021 船橋市海神 5-18-11 遠山方
TEL/FAX 047-431-5065
<http://www.marlow.or.jp/chiba/>

早いもので2014年も一月が過ぎましたが、1月号の会報発行はありませんでしたので、新年を迎えてのご挨拶をさせていただきます。2013年は、千葉の会も会員である全国のボランティア団体が組織する全国骨髓バンク推進連絡協議会の市川團十郎会長が2月に逝去されるという悲しい出来事がありました。心から哀悼の意を表します。同協議会では、6月に役員改選があり新たに醍醐寺の仲田順和座主が新会長に選出されました。また野村正満氏が新理事長に就任し、新体制がスタートしました。当千葉の会からは3人の理事を派遣し、協議会の運営を支えています。千葉の会では去年は登録会を41回開催しましたが、登録者は215人でした。回数がほぼ同じの2011年540人、2012年422人と比べ激減しています。

2014年は、献血ルーム登録会の開拓、大学、大型商業施設での登録会の充実を図ってまいりますので、皆様のご支援を引き続き、宜しくお願い致します。(会長 梅田正造)

第90回 箱根駅伝（東京箱根間往復大学駅伝競走大会）での啓発活動

今年も下記のように箱根駅伝の沿道で、骨髓バンクの啓発活動をしてきました。大会前は、3校（駒沢、日体大、東洋）の激戦と予想されていましたが、終わってみれば東洋大学の圧勝に終わり、強さと層の厚さを感じました。来年は、駅伝3冠と2連覇するのでは？来年も啓発活動をしますので、田町、宮ノ下、その他沿道で骨髓バンクの幟を見つけて下さい。

★★今年は、残念なことに千葉県から参加した順天堂大学、中央学院大学の2校が来年参加のシード権を獲得できませんでした。来年の本戦出場できるよう予選会を目標にがんばって下さい。★★（遠山）

1月2日（往路田町） 熊倉夫妻、石橋夫妻、柴谷、遠山

朝一番の高速バスに乗り、集合場所のJR田町駅に向かいました。7時30分の集合場所では、既に応援グッズが配布されたり、警備の警察官が立っていたり、既に駅伝モードになっていました。

千葉の会からは6名が参加。交通規制が実施され、ヘリコプターが近づいてくるといよいよ本番です。8時5分過ぎ、骨髓バンクの幟旗を手に、走り過ぎていく選手に声援を送りました。

往路の1区はスタート間近のため、話に聞いていたとおり選手が一人で通り過ぎ、短い時間でしたが、沿道の応援者・テレビ視聴者にPRができたのではないのでしょうか。(石橋(和))



1月2日（往路宮ノ下） 尾木、山本（弘）

箱根駅伝で最も注目される区間の一つであり、数々のドラマが生まれる山登りの5区。その中間地点、箱根・宮ノ下にて骨髓バンクの普及啓発活動をしました。応援に来ている大勢の人に対して、80代の方が寒さをものともせず一人ひとりにティッシュを配りながら声をかけ、小学生が大きな声で募金の呼びかけをしました。

帰りは約6kmの急な下り坂を1時間半で歩きましたが、ここを選手は20分ほどで登ったんだと思うと、その健脚のすごさを感じました。後日テレビ観戦していた知人からは、骨髓バンクの赤い旗が目立っていたとも聞きました。(山本(弘))



1月3日（復路田町） 溝口、円東

この日の早朝に有楽町駅傍で火災がありここを通過する電車は全面停止になりました。楽天家の私は昼までには再開するだろうと迂回方法も調べず出発。結局、地上がダメで地下の横須賀線で品川駅まで行き、折り返して田町まで戻り何とか到着しました。

現地では道路端に2本の幟旗を立て掛け、応援者の邪魔にならないよう気を使いつつ、TV中継にどの角度であれば映り込むかなど考えながら選手の到着を待っていましたが、ランナーはあっという間に通過し応援どころではない状態でした。余談ですが中継のヘリコプターが蟹の横這いのように移動しているのにびっくり！（円東）



上；2日 田町（ピンボケですみません）
中；2日 宮ノ下
下；3日 田町

献血併行登録会

ららぽーと TOKYO-BAY 12月14日(土)・15日(日)

今回初めて、ららぽーと TOKYO-BAY の献血併行ドナー登録会に参加しました。

クリスマス目前ということで、献血呼びかけのボランティアさんは、サンタクロースやトナカイに扮しての呼びかけをされており、私たちもサンタの帽子をお借りして、PRや呼びかけを行いました。ららぽーとは非常に大勢の方で賑わっていましたが、ドナー登録者数としては、少々残念な結果だったように思います。それでも、大勢の方にPRできたのではないかと考えています。

また、今回は千葉県学生献血協議会主催で、学生の方々との交流も深められ今後の県内大学での献血併行登録会が拡大していければと思います。(熊倉(照))



説明員	登録者数	説明受講者
14日 熊倉夫妻、西島夫妻 梅田、円東、仲田、黒川	2名	2名
15日 戸辺、尾木、河口 山本栄	5名	7名

左; 14日 参加者全員で
右; 15日 登録受付



説明員	登録者数	説明受講者
円東、河口	1名	2名

千葉市 中央区役所 1月17日(金)

当日は少々寒く、朝は氷雨混じりの天気で、しかも会場は4階の会議室ということもあり、果たして献血に市民の方が来られるか危ぶまれましたが、日赤ボランティアさんの協力もあり、午前中から多くの方が来られました。午後になり天気が回復すると更に多数の方が献血に訪れてくれました。

特徴としては30代～50代の女性献血者が大半を占めていました。献血者数は56名と上々だったと思います。

しかしながら、骨髄バンクのドナー登録者は1名、説明受講者2名とあまり良い結果とはいえませんでした。

今後に期待したいと思っています。(河口)

献血ルーム登録会報告 ～献血ルームフェイス編～

1月21日、献血ルームフェイス(船橋)でドナー登録会を行いました。

献血ルームでの登録会は、先のモノレールちば駅に続いて2回目となりますが、登録された方は5名で、以前から骨髄バンクに関心が有り、登録を検討されていた方が多かった様と感じました。採取病院はどの辺にあるのかとか、実際の提供の具体的工程までを考えて検討されていたりしゃる様子に感謝の気持ちが自然と湧いてまいりました。

献血ルームでの登録会は、他県でも雇用促進予算などにより、説明員の一定期間常時派遣で効果を上げています。

千葉県でも関係者と協議しながら、実現して行ければと期待が膨らみました。(溝口)



説明員

溝口
円東



登録者 5名
説明受講者 0名

患者・家族電話相談

「白血病フリーダイヤル」

0120-81-5929

毎週土曜日 10:00-16:00

毎月第2, 4土曜日には

血液専門医も相談に応じます。

(特定NPO法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会)

ドナーサポートダイヤル

0120-892-106

ドナーさんが移植に向けての不安に対応します。

(特定NPO法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会)

「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」が施行されました。

12年9月6日に造血幹細胞移植に関する法律が成立しました。これを受け12年12月28日に厚生労働省では、新委員による造血幹細胞移植委員会を発足させました。私もドナーの立場で委員に就任し、13年は精力的に審議しました。

この結果「法律施行規則」「運用に関する指針」がまとめられ、法律は14年1月1日に施行されました。この法律の我々ボランティアの立場からのポイントは以下の通りです。

1. 日本赤十字社も造血幹細胞の提供に関する普及啓発を行うことが明記された。→ドナー登録者へのリテンション、若年層への重点的、積極的なリクルートをどこまで実施頂けるかが最大の関心事。
2. 日本赤十字社はドナー情報の一元管理及び移植医師への情報提供を行う。
3. 国、地方公共団体、幹細胞幹旋・供給事業者、医療関係者、ボランティア等関係者の連携。→従来以上に千葉県、千葉県赤十字血液センター、千葉の会の連携強化が必要です。
4. ドナーは身体的な負担を負うので、健康保護のための措置を図る。→どのような対応が取られるか見守りたい。
5. 造血幹細胞移植推進拠点病院の整備。→具体的な拠点病院がどこになるか注目したい。(梅田)

会費納入のお願い

千葉骨髓バンク推進連絡会は、皆様からの会費とご寄付で運営しています。皆様のご支援とご協力をお願い致します。

年会費； 3,000円（学生1,000円）
振替口座名 千葉骨髓バンク推進連絡会
口座番号 00160-6-547168

※毎月開催している定例会に持参していただいても結構です。もちろん定例会出席も歓迎です。

特定非営利活動法人 全国骨髓バンク推進連絡協議会 患者支援基金の紹介

私たちが会員登録している上記団体に3つの基金を設けております。今回は最後の下記の基金を紹介させていただきます。関心のある方は、「全国骨髓バンク推進連絡協議会」事務局まで連絡下さい。

こうのとりのマリン基金のご紹介 「あしたも、赤ちゃんも、きっと来るから」

骨髓バンクやさい帯血バンクの成長と医療技術の進歩により、造血幹細胞移植医療は多くの患者さん達に治療をもたらしてきましたが、治療の過程で生殖機能にダメージを受け、不妊となる可能性もありました。

一方で、生殖医療の進歩によって、がん患者のための未受精卵子保存などの研究が進められ、今や造血幹細胞移植を始める前に卵子を保存し、完治した将来に子どもをもつことも夢ではなくなっています。

いまは大変だけど、がんばっていつかは元気な赤ちゃんのママになるんだ。

「こうのとりのマリン基金」は、未受精卵子の保存を望む血液疾患の女性患者さんや、病を克服し保存していた卵子を使用して妊娠を望む方を経済的に支援します。

給付対象

- 今後、造血幹細胞移植や抗がん剤治療を開始する予定で未受精卵子保存を希望される女性患者。
- 過去に血液疾患の治療を受けた元女性患者、保存していた未受精卵子を使用して妊娠を望む方。
- 日本国内に居住し、日本国内で治療中であること。
- 対象年齢は日本生殖医学会の年齢制限基準に準じます。
- 世帯の所得が、当基金の定める額を超えていない方。

給付内容

- 未受精卵子の凍結保存にかかる採取・保存費用、採取のための交通費の一部。
- 採取した未受精卵子を使用して着床させるまでにかかる費用、そのための通院にかかる交通費の一部。
- 上限額 一人 30万円。

※この基金は、東京マリンロータリークラブからのご厚意を原資に創設されました。

日本骨髄バンクと千葉県の登録者数最新情報 (2013年12月末現在)

	全国(累計)	対前号増減数	千葉県(累計)	対前号増減数
ドナー登録者数	441,525	+2,501	13,337	-28
累計患者登録者数	40,555	+464	1,600	+20
累計移植例数	16,409	+209	518	+8

会員紹介 ～ 円東克典 ～

今迄、会員としては若い方を中心に紹介してきましたが、今回から古いメンバーも紹介してゆこうということで、会員歴の一番古い(年齢ではありませんよ)私が担当します。バンクとの係わりですが、東大病院のプライベートバンクに登録したのがきっかけです。

この後東海骨髄バンクを経て公的バンクに登録となりましたが、一度も女房共々呼び出しはなく卒業となり、その点がこの活動をしてきて非常に残念なことです。しかし、この間公的骨髄バンクの立ち上げ、普及啓発、患者支援等の会社以外の活動が人生の幅を広げてくれたことに感謝しています。併せて、亡くなった娘はたった3か月の命でしたが、私がこの活動することにより、この世に生を受けた証しを残しているのでは、と考えると感慨深いものがあります。



UKATSUな話

はじめまして。(一社)落語協会所属の噺家で、「三升家う勝」と申します。今号よりコラムを連載させて頂くことになりました。千葉県生まれの千葉県育ち、どうぞ宜しくお願い致します。

さて、私は1993年にドナー登録をしました。多くの方の言うように全く音沙汰がなかったのですが、ちょうど十年後に提供依頼が届き、翌2004年に移植の運びとなりました。早いもので、また何もなくて十年が過ぎようとしています。もちろん、移植を必要とする患者さんがいらっしやらないのであれば、それに越したことはございません。しかし、実際には、まだまだ登録者の増員と、そのための啓蒙活動が必要なのでしょう。皆様方の日頃のご尽力に、改めて敬意を表する次第です。

ちなみに、私の本名は梅田と申しまして会長とは同姓、さらに昨年より千葉大学に通っておりますから後輩にもあたるわけです。出来の悪い弟分ではございますが、微力ながらお手伝いさせて頂ければと考えております。何かお役に立てそうなことがありましたら、お気軽にご連絡ください。

今後の予定(お知らせ)

ドナー登録会

- ・津田沼献血ルーム 2月25日(火)、
27日(木)

ドナー登録会とイベント

- ・ジャパンキャンピングカーショー
2月8日(土)～11日(祝火)幕張メッセ

定例会予定

日時 3月2日(日)14時～
場所 船橋FACE5階 ボランティアルーム

日時 4月6日(日)14時～
場所 船橋FACE5階 ボランティアルーム



<編集者のひとりごと>

年始の千葉県民だよりに骨髄バンクドナー登録のお願いの告知が掲載してありました。

今年より法施行に伴い、各市での献血時にドナー併行登録会が開催されるといいんだけどなあ!

それと、若者層の献血離れが気になっています。千葉県内の大学で献血併行登録会が盛り上がりれば一石二鳥なんだけどなあ!(遠山)

パネル展告知

今年も東京学館船橋高等学校吹奏楽部の定期演奏会場のロビーにて、パネル展を開催しますので、楽しいひとときと共に足を運んではいかがですか?

日時 平成26年3月22日(土)14時30分～ 会場 流通経済大学 新松戸キャンパス講堂